

IDCJ 評価部主催  
「第 18 回プロフェッショナル統計分析ワークショップ」  
受講生アンケート結果  
(2019.2.4~2.6)

1. スタンダードコースでは以下のトピックを学びました。それぞれに関して、満足度や今後の改善点に関するコメントを記載してください。

「ヒストグラム・平均値・中央値・標準偏差」

- 初歩知識だと思うが、自習ではかなり理解に時間を要した部分を、かみくだいて教えていただき良かった。
- とてもわかりやすかったです。満足度 4.5 で改善点のコメントはありません。
- これまで特に深く考えずに使っていた概念について、そもそもから丁寧に説明していただき、その後のワークショップの内容を理解する際にとっても役に立ちました。
- はじめてでもわかりやすかったです。標準偏差について、理解不足な点があるので、復習し、100%分かるようになりたいと思いました。
- 母集団の平均、母比率の信頼区間 95%の推定値範囲を求める等、サンプル→母集団推定→プロジェクト計画といった流れの統計活果の活用の練習もしてみたかった。
- 演習を繰り返すことによって、より理解度が高まりました。

「t検定」(事前・事後のt検定、2群のt検定)

- 標準誤差やt値の手計算を通じ「なぜp値の基準が 0.05 なのか」といった疑問がきれいに解けました。これまでエクセルの分析ツールで出力するだけでしたが、計算の背景が理解でき、とても満足でした。
- 論文の読み方まで発展して教えていただき、将来的に自分の研究に応用できるイメージが湧いた。
- 理論の基礎は理解できたように思います。自分が使えるかは別だと思えます。研修の満足度は、論文の読み方を含めると 4.0 です。
- 考え方もこの 1 回だけだと忘れそうなので、やはり復習しようと思えます。
- 「統計的に有意かどうか？」の確認の仕方を学び、自分にとっては非常にためになりました。

比率の検定

- シンプルで理解しやすかったです。
- もっと奥がありそうではないのでしょうか。満足度は 3.8 ぐらいです。
- 1 日の終わりで頭が疲れていたこと、そもそも論をあまりせずすぐに計算に入ったため、いまいち理解が進みませんでした。
- データが単純な演習でわかりやすかったです。

「回帰分析」(単回帰・重回帰)

- 自習では確実に追いつかない内容を、わかりやすくまとめていただき効率良く理解できそうでした。

- 説明はわかりやすかったです。満足度 4.2 です。
- 実務で疑問に感じていた内容がクリアになり、大変助かりました。
- 難しいですが、様々な分析ができることが分かり、面白かったです。
- **【「ヒストグラム・平均値・中央値・標準偏差」から「回帰分析」までの感想】**  
基礎的な部分から手計算の方法まで、理解出来た。特にエクセルを含め、資料が充実していると感じた。解説の方も、本でよんだ程度では理解出来なかった所や、経験知的なものまでふまえて話してくれて、勉強になった。

#### 構造方程式モデリング (SEM)

- 限られた時間で理解しきることはできませんでしたが、導入としてはとても分かりやすく、今後、自分の分野でも分析の幅が広がると感じました。とても刺激的でした。
- 実務での使い所がいまいち理解出来なかったが 3 日目の JICA の例を見て理解出来た。但し、自分が一人で使えるような気はしなかった。
- 分析方法そのものに加えて、何のためにこのような分析を行う(必要)のかをもう少し説明されると良いかもしれません。
- ソフトを扱うのが難しかった。
- AMOS 自体走らないことも多く、使い勝手の良さがよく実感できなかった
- 上手くソフトウェアを使えなかったですが、図で示すところが興味深く、特に参考 6 のモデルは印象深かったです。

2. 応用コースでは以下のトピックを学びました。それぞれに関して、満足度や今後の改善点に関するコメントを記載してください。

#### サンプルサイズの計算

- G Power でない Lehr? の式でどのように実際に母集団の標準偏差を何から用いられているかの紹介も聞いてみたかったです。
- 基準と考え方、メリット、デメリットを端的に知りたいと以前から思っていたことがクリアになり、ためになった。
- 理論的な話と実務と両方聞けて勉強になりました。満足度 4.0。
- 計算ソフトの存在や中身の見方がわかるようになった。t検定とあわせて、明日から使ってみようと思う。
- 開発分野での研究の概要がうかがい知れ、興味深かったです。
- このようなソフトウェアがあることを知らなかったのも、とても参考になりました。特に、サンプルサイズは実践的だと思います。

#### メタアナリシス

- わかりやすかった。
- 興味深かったです。テキストにあって説明されなかった、異論性について話を聞いたかったです。満足度 3.5。
- 興味深かった。
- このようなソフトウェアがあることを知らなかったのも、とても参考になりました。

#### 最新分析手法(DID、PSM、IV)

- 各手法そのものはシンプルでわかりやすかった。RCTとの関係も説明してもらい良かった。
- 全体を通して実務者目線の解説、演習、結果の解釈、記述の一連の流れが見れて良かったです。ただ既存評価結果の結果解釈の練習(評価報告書、論文の解釈)をもう少しやって実践例に触れて理解度を高める演習時間がもう少しあると助かります。
- DIDは理解しやすかった。PSM、IVも概念としては理解出来た。
- 論文等、実際に出ている資料を見れて、とても分かりやすかったです。手法も、例が実践的で使えそうだと思います。